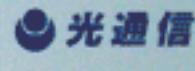


# Challenge Japan IoT Award 2015

## 第二回 ICT ビジネスモデル発見 & 発表会

# ビジネス部門 全国大会出場権

ICT ビジネス研究会



## 愛媛新聞

11/29 [日]  
平成27年(2015)

総合 3

次へ ページ選択

ITを活用して地域を元気にするビジネスプランを競い合う「ICTビジネスモデル発見＆発表会四国大会」が28日、松山市大手町1丁目の愛媛新聞社であり、大学生や専門学校生、企業などの14チームがそれ

### IT活用し地域元気に 松山 学生・企業 事業計画競う



小学生らを対象にしたプログラミング教室についてプレゼンテーションする愛媛大4年の武田知大さん

11月28日午後、松山市大手町1丁目

ぞれの技術やサービスについて熱いプレゼンテーションを繰り広げた。ICTビジネス研究会、テレコムサービス協会四国支部主催。同支部の宮内隆会長（愛媛CATV社長）が「地域のアイデアに光を当てるに力を入れていきたい」とあいさつした。キャンパス部門に大学生や高等専門学校生ら7チームが、ビジネス部門に企業の事業担当者ら7チームが出場。それぞれ発表と質疑応答を行った。実現性や地域貢献性、プレゼン能力などを審査した。

愛媛大4年の武田知大さんは、ゲームのプログラミングなどを小学生らに教える教室「ティックプログラミング」（松山市）について熱いプレゼンテーションを繰り広げた。コンピューターシステム開発などのパルソフトウェアサービス（同）の営業部リーダー曾根博一さんは、イノシシの農作物（35）は、ながら遠隔操作で捕獲する被害対策として、おりにセンサーを設置し、映像を見完全自動化を目指す」と力を込めた。

2人は最優秀賞に選ばれ、2016年2月に東京で行われる全国大会に出場する。（二宮京太郎）